

## 序

いま、内外における環境問題は、フロンによるオゾン層の破壊、二酸化炭素がもたらす地球の温暖化、酸性雨による森林、湖沼の被害等々から地球的規模の環境保全の時代とも言うべき様相があります。そして、この地球環境保護問題は、国際政治の上で緊急、重要な課題として合意が急ピッチで進められております。このような地球思考の時代こそ私達の足元の地域環境をしっかりと調査、把握し監視を行う必要があります。そして人の生活や、産業が「地球にやさしい暮らしと活動」に徹することがひいては地球の保護につながるものであると思います。

今後も地球環境問題を視野に入れながら、公害のない快適な生活環境づくりに役立つための調査、研究を念じて所員一同研さんを重ねていきたいと考えております。

ここに昭和63年度事業の概要と調査研究を年報第16号としてとりまとめました。ご意見、ご指導をいただければ幸いに存じます。

平成2年3月

川崎市公害研究所長

福 満 博 視